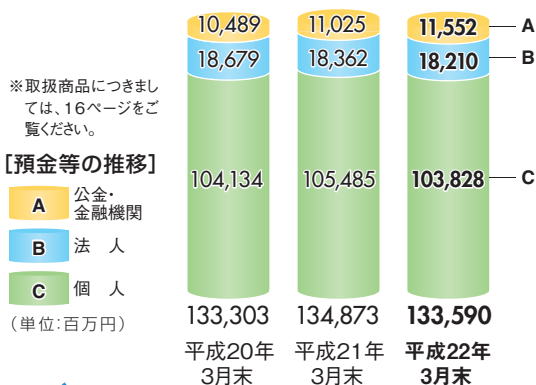


## 地域貢献

地域の繁栄は、金庫の繁栄。地元経済の振興こそが信金の務めです。

### お客様の預金について

当金庫の平成22年3月末の預金積金残高は1,335億円(譲渡性預金を含む)です。お客さまからお預かりした大切な預金は、皆さまから信頼をいただいている証であります。



※取扱商品につきましては、16ページをご覧ください。

### 今期の決算について

20年度の多額の不良債権処理により信用コストが減少、貸倒引当金の戻入益や償却債権取立益を計上したほか、金融市場の落ち着きから有価証券関連損益の回復、退職給付引当金の取崩益等もあり、当期純利益は519百万円と黒字回復いたしました。

**自己資本は105億3千8百万円**と4億7千9百万円増加、**比率も18.34%**と1.89ポイント上昇し、引き続き国内基準の4倍以上と安全性・健全性にゆるぎはございません。

## 江差信用金庫

常勤役職員数 / 140人  
店舗数 / 10店

当金庫の営業エリアは、桧山・渡島管内南西部に位置する2市12町となっております。

※店舗の詳細につきましては、20～21ページをご覧ください。

## 預金積金 / 出資金

### 地域のお客さまへのご融資について

当金庫は、預金者に対する責任に応えるべく、出資者である会員の皆さまへのご融資を基本として、地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて、多数者利用の原則に基づく融資を心掛けております。

当金庫の平成22年3月末の貸出残高は右図の構成となっております。

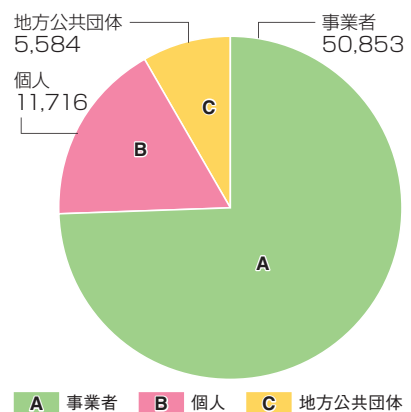
#### 〈貸出の運営方針〉

1. 地域に貢献する中小企業に対して積極的に支援いたします。
2. 大口に偏重することなく、多数のお客さまにご利用いただけるように徹底し、信用リスクを分散いたします。
3. 業種の片寄りを可能な限り是正し、バランスのとれた運用を行います。

なお、地元中小企業や地域社会の皆さまの様々な資金ニーズに応えるため、制度融資資金等をはじめ、各種商品を取り揃えております。

※取扱商品につきましては、17～18ページをご覧ください。

【貸出金残高構成】(単位:百万円)



貸出金残高 / (平成22年3月末) 68,154百万円  
預金積金における貸出金の割合 / (平成22年3月末) 51.01%

設備資金 / 41,043百万円  
運転資金 / 27,111百万円

## 当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、松山・渡島管内南西部に位置する2市12町を事業区域として地域の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業の繁栄や生活の安定のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地域の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機関の業務提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

## ご融資以外の運用について

当金庫はお客さまの預金を、ご融資による運用の他に有価証券等による運用も行っております。

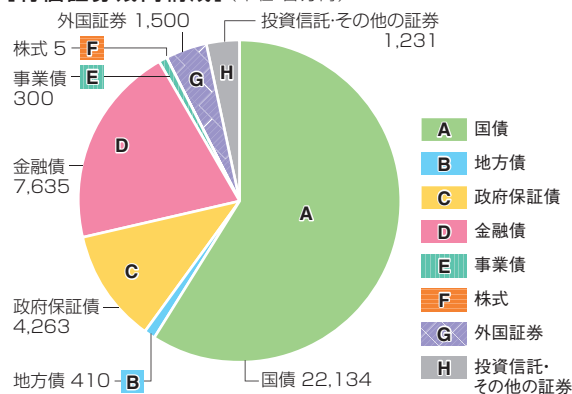
有価証券運用は、格付けの高い公社債等を中心に各種リスクに十分配慮し、安全な運用に努めております。

この他、即日換金可能な信金中金定期預金等への預入により、流動性リスクについても十分配慮しております。

有価証券残高／37,482百万円

預け金残高／36,672百万円

【有価証券残高構成】(単位:百万円)



## お客さま／会員

会員数／7,904人

出資金残高／367百万円

## ご融資／支援サービス

## お取引先へのご支援等について(地域との繋がり)

- 当金庫は、地域経済が低迷している現在、企業支援課を立上げ営業店と一体となって、業績低下に苦慮しているお取引先の相談を親身になって受け、打開の為の財務改善策等アドバイスを行っております。
- 既に営業店の部店長に対し、財務改善計画に向けた積極的な取組みを指示しております。また、融資担当者を中心とした勉強会を開催し、担当者の能力向上に努めております。
- また、中小企業や個人事業主を対象としたお取引先相互の親睦交流の場として「江信会」(函館・七重浜地区)を発足させております。経済講演会や旅行等、各種事業の企画支援を通じ、経済情報の提供やお客さま同士の情報交流による取引促進など、お客さまの発展と繁栄のお手伝いをしております。(会員数226名:函館地区127名・七重浜地区99名)
- 当金庫は、中小企業者や個人事業主の皆さまの経営に少しでもお役に立てて頂ければとの思いから、地域内の経済情報を収録した「地区内経済概況」や「営業地区内企業の景気動向調査結果」、業界経済情報誌である「経営情報」や「しんさんふれ愛ネット通信」等の各種経営情報をお届けしております。
- その他にも、当金庫では年金の指定を頂いているお客さまを対象とした親睦団体「江差しんさん年金友の会」を運営しており、各店に支部があります。会員の皆さまに少しでも満足いただけるよう資金面でも支援しながら、パークゴルフ大会、歌謡ショーをはじめ、一泊旅行の実施や支部単位の行事としてゲートボール大会、旅行会、花見会、新年会・親睦会などを企画しており、たくさんの参加を頂いております。(会員数4,167名)
- 個人のお客さまが希望した場合、生活に密着した各種情報が満載されている情報誌「楽しいわが家」をお届けしております。

\*各計数の単位は百万円、単位未満は切り捨てて表示しております。  
\*各計数は平成22年3月末現在です。

## 地域貢献

地域金融機関として、地域への貢献活動を多彩に行っております。

当金庫の本支店(10カ店)は、  
それぞれの地域祭事・催事に積極的に  
参加しているだけでなく、町内や海岸清掃など  
環境保全ボランティア活動にも取り組んでおります。

## 社会貢献活動

### 「地域振興積立金」による各種事業への助成

平成6年2月に当金庫創立70周年を記念し、当初予定の300百万円の満額を原資として積立て、この果実をもって営業区域内の団体・個人等に広く助成を行っています。

(地域産業振興事業、町起こし事業、歴史的遺産保存、福祉事業及び教育機関施設などの事業が対象)

これまで

平成 6年度	1件	450千円	平成11年度	6件	1,850千円	平成16年度	2件	600千円
平成 7年度	5件	3,000千円	平成12年度	2件	1,000千円	平成18年度	1件	300千円
平成 8年度	9件	13,250千円	平成13年度	5件	2,320千円	平成20年度	2件	900千円
平成 9年度	7件	2,600千円	平成14年度	3件	1,300千円	平成21年度	2件	700千円
平成10年度	7件	2,800千円	平成15年度	3件	1,100千円			

合計55件 32,170千円

### 年金友の会活動への支援

当金庫で年金を受け取っている会員相互の親睦団体で各店に支部があります。(会員数4,167名～平成22年3月末現在)

会員の皆さまに少しでも満足頂けるよう資金面でも支援しながらパークゴルフ・ゲートボール大会・歌謡ショーを始め、旅行会・花見会・新年会・親睦会など企画しており、たくさんの参加を得て喜ばれております。



### 江信会行事への参加・支援

函館・七重浜地区の取引先による会員相互の親睦団体です。

[会員数226名(函館地区127名・七重浜地区99名)～平成22年3月末現在]

経済講演会・旅行・ゴルフ大会・懇親会・レクリエーション(ビアパーティ・ボウリング大会)など楽しい催しものが企画されており大変好評で江差信金も参加支援しております。



### 交通安全運動への積極的な参加

当金庫は、北海道セーフティラリーへの積極的な参加や交通安全街頭キャンペーン等への参加を通じて交通安全意識の高揚を図るとともに、悲惨な交通事故の防止を願っております。

### 環境問題への取組

環境問題への取組みは社会的責務であり、当金庫としても「やれること・やらなければならないこと」に積極的に取り組んでおります。現在、電力使用量の削減を主要課題としながら、コピー用紙・ガソリン・LPGガスにつきましても、目標を定め削減に取り組んでおります。

また、平成17年11月に移転新築した函館支店には、環境問題に配慮したエネルギー確保を目的に、店内に設置の電光表示ボードで発電状況や積算発電電力量などを確認できる太陽光発電システムを採用設置しております。

## 事業再生・中小企業金融の円滑化

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化については、「経営改善計画指導要領」の制定や研修の実施等により内部体制の整備を進めると共に、平成16年4月からは専担部署として新設した「企業支援課」が中心となって営業店と連携しつつ支援対象企業を訪問し、より個別・具体的に取引企業の再生に向けた取組みを強化し実施しております。

地域全体の景況は依然として低迷し、厳しい経営環境下にはありますが、引き続き企業支援課が中心となり、経営者との密度の高いコミュニケーションを維持、企業再生に向けて、実効性のある経営改善指導等を強化して参ります。

また、中小企業金融の円滑化に向けた取組み強化として、個人保証等に過度に依存しない融資推進を図るため、キャッシュフロー重視の方針を内部規定で明確に打出すと共に、北海道信用保証協会等との連携による融資商品も取り揃え、相応の成果を挙げる事ができました。(平成21年度取扱実績63件、469百万円)

### ■経営改善支援の取組み実績(平成21年4月～平成22年3月)

(単位：先・%)

	期初債務者数(A)	うち経営改善取組み先(a)	(a)のうち	(a)のうち	(a)のうち	経営改善支援取組み率(a/A)	ランクアップ率(β/a)	再生計画策定率(δ/a)
			期末に債務者区分がランクアップした先(β)	期末に債務者区分が変化しなかった先(γ)	再生計画を策定した先(δ)			
正常先①	1,028	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
要注意先	うちその他要注意先②	141	9	0	9	6.38	0.00	100.00
	うち要管理先③	2	0	0	0	0.00	0.00	0.00
破綻懸念先④	32	1	1	0	1	3.13	100.00	100.00
実質破綻先⑤	47	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
破綻先⑥	16	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
小計(②～⑥の計)	238	10	1	9	10	4.20	10.00	100.00
合計	1,266	10	1	9	10	0.79	10.00	100.00

(注)1.期初債務者数及び債務者区分は21年4月初時点で記載しております。

2.債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含まれておりません。

3.「再生計画を策定した先数」は平成20年度及び平成21年度中に策定した先のうち、下記( )の先数を記載しております。

(「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」)

### ■個人保証に過度に依存しない融資に向けた取組み実績(平成21年4月～平成22年3月)

(単位：百万円)

	①スコアリングモデルを活用した商品				②コベナントを活用した商品	③動産・債権譲渡担保融資	④知的財産担保融資	①+②+③+④取組み合計
	ファースト応円談Ⅱ	タンポポ金	無担保小口カードローン	小計				
平成21年度取扱実績	(47件) 368	(6件) 51	(0件) 0	(53件) 419	(一件) —	(10件) 50	(一件) —	(63件) 469
平成21年度末残実績	(196件) 1,167	(32件) 200	(190件) 518	(418件) 1,885	(一件) —	(1件) 98	(一件) —	(419件) 1,983

(注)1.( )は件数。金額単位未満は切り捨てて表示しております。

2.平成22年3月末現在で取扱中の融資商品のみ記載しております。